

葛飾総合高等学校 令和2年度 教科 地理・歴史科 科目 日本史B 年間授業計画

教科：地理歴史科 目：日本史B 単位数：4単位

対象学年組：第2・3学年選択

教科担当者：伊藤伸

使用教科書：（ 詳説日本史 山川出版 ）

使用教材：（ 新詳日本史 浜島書店 ）

	指導内容	日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	新型コロナウイルス対策による臨時休校	プリントによる課題学習		
5月	新型コロナウイルス対策による臨時休校	プリントによる課題学習		
6月	(1) 原始・古代の日本と東アジア	<p>原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>歴史と資料 遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料の特性に着目し、資料に基づいて歴史が叙述されていることなど歴史を考察する基本的な方法を理解させ、歴史への関心を高めるとともに、文化財保護の重要性に気付かせる。 旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代を経て、我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程、隋・唐など東アジア世界との関係、古墳文化、天平文化に着目して、古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	ノート提出、單元ごとの小テスト、定期考査	8

	指導内容	日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	(1) 原始・古代の日本と東アジア (2) 中世の日本と東アジア	古代国家の推移と社会の変化 東アジア世界との関係の変化、 荘園・公領の動きや武士の台頭など諸地域の動向に着目して、古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽(ほうが)について考察させる。 中世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 武士の土地支配と公武関係、宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察させる。	同上	6
8 月				
9 月	(2) 中世の日本と東アジア	日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽(ほうが)に着目して、中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。	同上	8

	指導内容	日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月	(3) 近世の日本と世界	織豊政権の統一事業の過程での代表的な戦いや、 検地・刀狩などの国内政策や外交政策について知る。	同上	8
11月	(3) 近世の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ・桃山文化の特色を知る。 ・江戸時代に全国支配を行ったのは、徳川將軍を中心とした江戸幕府であることを知る。 ・鎖国はどのような体制であったかを知る。 	同上	8
12月	(3) 近世の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ・元禄時代の政治や正徳の治の代表的な政策を知る。 ・農業中心に経済が発展し、交通や貨幣制度が整備されたことを知る。 ・元禄文化の特色を知る。 ・享保の改革や田沼政治の代表的な政策を知る。 ・宝暦・天明期の文化の特色を知る。 	同上	6
1月	(3) 近世の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> 寛政の改革や天保の改革の代表的な政策を知る。 ・列強の接近が幕府を中心とした国内の支配体制を脅かしたことを知る。 ・改革に成功した薩摩藩・長州藩などの雄藩の台頭について知る。 	同上	6

指導内容	日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

指導内容	日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2月 (4) 近代日本の形成と世界	<ul style="list-style-type: none"> ・ペリー来航と日米和親条約調印により、幕府が鎖国政策を改めたことを知る。 ・日米修好通商条約が不平等条約であったことを具体的な内容を通して知る。 ・開国後の政治情勢の中で尊皇攘夷派と公武合体派の対立があったことを知る。 	同上	6
3月 (4) 近代日本の形成と世界	新政府が五箇条の御誓文、五榜の掲示を出したことを知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・廃藩置県、四民平等、徴兵制、地租改正などについて、それぞれの内容とその目的について知る。 [文明開化] <ul style="list-style-type: none"> ・欧米文化が導入され、人々の生活が変化していったことを知る。 ・朝鮮、琉球や樺太千島など領土を画定していったことを知る。 	同上	6